

# 高校生のスマートフォン利用実態調査 - 教具さらには文具としての可能性を探る一考察 -

高瀬敏樹\*1

Email: toshiki.takase@sapporo-c.ed.jp

\*1: 北海道札幌旭丘高等学校

©Key Words スマートフォン, デジタル文具, 高校生

## 1. はじめに

共通教科「情報」の授業において、毎年新入生に対し、ICT利用の実態と入学時点での情報リテラシーを把握する目的で、アンケート調査を実施している。

2012年4月の調査で、スマートフォンの保有率が50%を超えたため、本年度はスマートフォンの利用実態の把握を目的とした詳細な調査を行った。

本稿では、本校における高校1年の利用実態調査の一部を報告すると共に、全生徒がスマートフォンを利用できる環境になった際に、どのような教育利用の可能性があるかを、生徒の回答を参考に考察した。

## 2. 方法

### 2.1 調査参加者

本校（全日制普通科）の新入生全員（324名）を対象とした。調査日の欠席者を除く、317名（男子120名、女子197名）から有効回答を得た。有効回答率は98.1%である。

### 2.2 調査時期と方法

2013年4月第5週から5月第2週にかけて、授業時間内において、Googleドライブのフォームを利用したWEBアンケートで実施した。制限時間は特に設けなかったが15分程度で全員が回答し終えた。無記名による。

## 3. 結果

### 3.1 スマートフォン保有率

入学当初（4月第2週目から第3週目）の調査では、85.1%だったので、半月程の間で3%程上昇している。

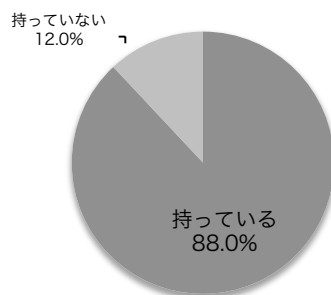


図1 スマートフォン保有率

### 3.2 機種

メーカー名、機種名、OS名での質問では、明確な

回答を得られないことが予想されたので、高校生の認知度が高いiPhoneかそれ以外かという選択肢にしたが、「よくわからない」という生徒が実人数で17名、「両方」保有している生徒が1名いた。

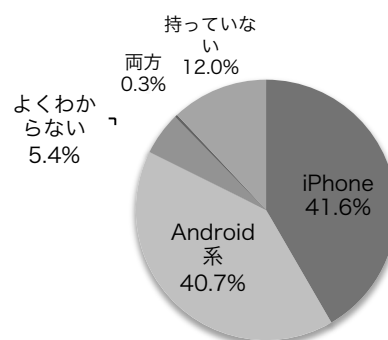


図2 使用機種

### 3.3 キャリア

一般の調査と比較すると、KDDI auのシェアが高いのが特徴である。EMOBILEは1名、WILLCOMの利用者はいなかった。

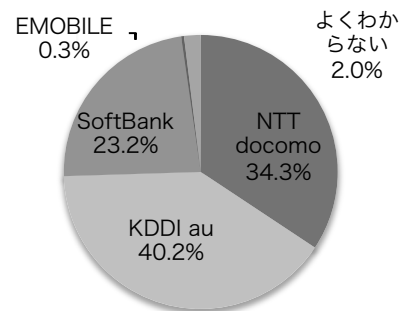


図3 利用しているキャリア

### 3.4 よく利用する機能

具体的な頻度は明示しなかったが、普段よく使うと認識している機能を複数回答させた結果、SNS、写真撮影を80%以上の生徒が利用しているのに対し、メール、アプリ（自分でインストールしたもの）、ブラウザの利用度が比較的低いことがわかった。

また、デジタル文具を利用している生徒はほとんどいなかった。

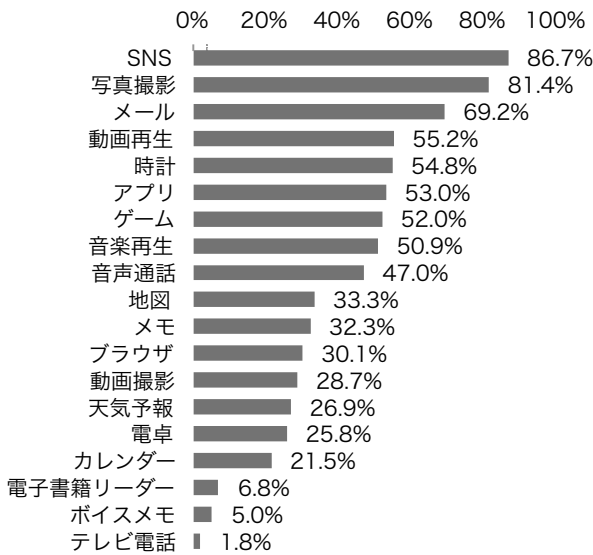


図4 よく利用する機能

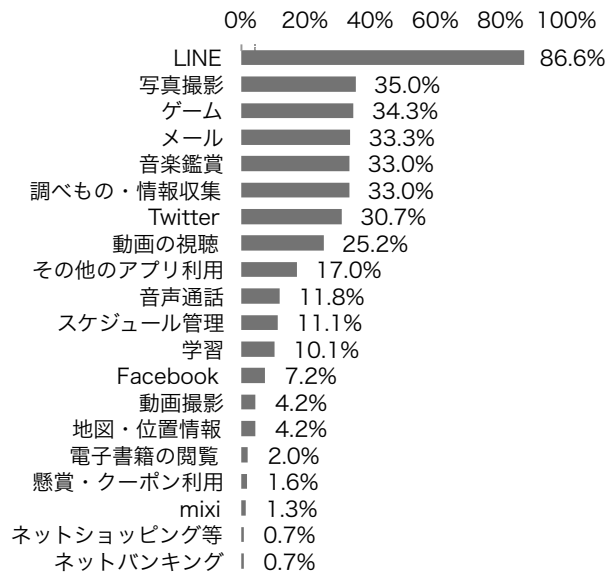


図7 毎日行っていること

### 3.5 1日あたりの平均利用時間

1時間以上利用している生徒が、42%を超えている。調査時期による変動も考えられるので、今後継続して調査し検証する予定である。

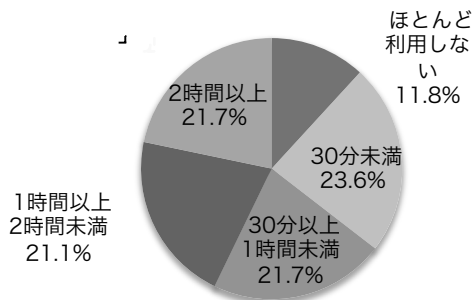


図5 1日あたりの平均利用時間

### 3.8 授業中に利用できるとしたら

自由記述により、活用方法の提案を求めたが、板書の写真撮影など従来型の学習携帯を補完するような利用がほとんどであった。

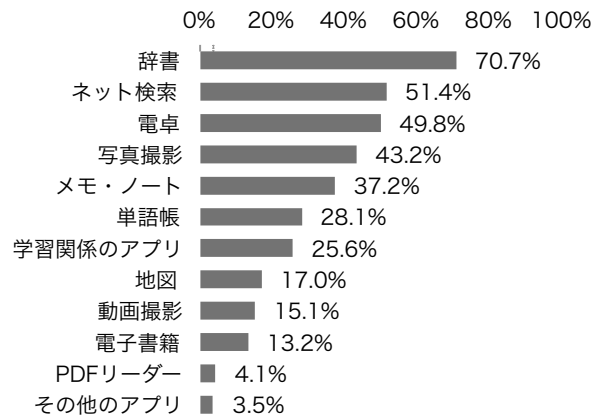


図8 授業中に利用したい機能

### 3.6 主な利用シーン

本校では、授業時間以外での使用は認めている。

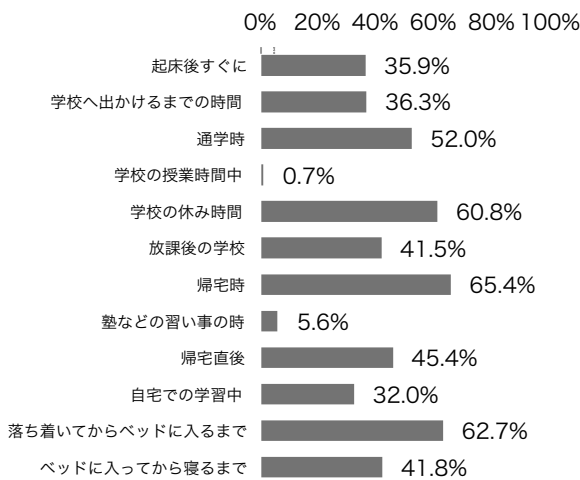


図6 主な利用シーン

### 3.7 毎日行っていること

LINEの日常的な利用が突出している。

## 4. 考察

電子辞書代替りの利用希望が一番多いことから、教員の立場ではデジタル教具として、生徒の立場としてはデジタル文具としての活用は導入しやすいと考えられる。

一斉学習で情報端末を利用する場合、1人1台のタブレット型端末が望ましいが、協働学習や個別学習においては、スマートフォンを教具や文具の一つとして、積極的に活用することは極めて現実的な方策である。

## 5. おわりに

ほぼ全員の生徒が個人で保有しているスマートフォンを、授業等で活用するためにも、「超高速の校内無線LAN環境の構築」<sup>(1)</sup>が欠かせない。

### 参考文献

(1) 文部科学省：“教育の情報化ビジョン”，pp.10-20，文部科学省（2011）。